



みねかえで しるし あお
峰楓 徽章と仰ぎ

第7号

【文責 保科 潔(教頭)】

地域が学校 地域の皆様が先生

本校の様々な取り組みに興味を持っていただく皆様が日々、外部からお見えになります。また、活動内容に応じて職員と一緒に授業づくりをし、実際に先生役としてお支えいただける皆様もいます。

12月に行われた授業を紹介します。

職場体験学習 まとめのポスターセッション(2学年・12月4日実施)

感じたこと、考えたこと、学んだことを自分の中だけでとどめておくのはもったいない！ 職場体験学習のようすを学年内の仲間、来年度に実施する1年生、そして、お招きした職場の方々を前にして発表と質疑応答する機会を持ちました。

「なぜ、その職場を選んだのですか?」「途中、疲れてきて集中力が切れそうになったとき、Aさんはどう乗り越えましたか?」等、生徒同士の質疑応答が聞かれました。

職場の皆様からは「体験中も色々なことを感じながら仕事をしていたこと、終わった後に体験をふり返って『やってよかったな』と思ってもらえたことがうれしい。」といった感想が出されました。

時間をおいて活動をふり返ることで活動中の光景や感情がよみがえり、職場の方々を前に語ることで、かけていただいた言葉や働く姿が思い出されて、「あの5日間」が特別な時間や場所でおこなった貴重な経験として、記憶に残っていく機会となりました。



地域、そして未来を創るのはいつだって若者 上農生と語る会(全学年・12月11日実施)



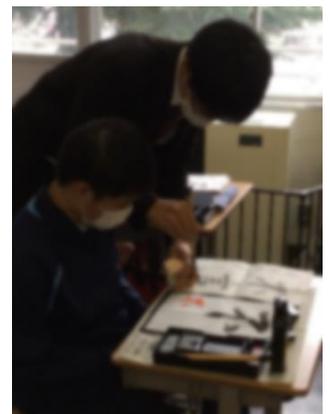
「わくわく感」「まんざらじゃない感」。これは、伊那中学校が様々な活動で大切にしている感情です。長野県を元気にするビジネスプランを競う、「信州ベンチャーコンテスト2020」でグランプリを受賞した上伊那農業高校の生徒6名をお招きして、グランプリ受賞までの「物語」を聞きました。ザザムシの粉末を使ったカップ麺、落下リングを使ったリング茶の商品開発までのストーリーです。10代の若者の発想や行動力に、世の中を動かしていく可能性が秘められていることを感じます。

そのあと、車座になって伊那谷のこと、中学校時代や高校生活のことを語りあう時間をとりました。中学生からは、「たった2歳しか変わらないのに、発想や行動力が全く違う。高校生ってすごい!」といったおどろきと「そんな高校生になるには、中学校時代に何をしてあげばいいですか?」といった質問が出されました。大丈夫です。そんなあなたも数年後には、先輩のような高校2年生になっているはずです。

技を磨く 高遠高校生による書き初め指導(1,2学年・12月16日実施)

高遠高校の書道講座および書道部の皆さんに、書き初め指導を依頼しました。

10名が来校して、筆を動かして書き方のお手本を示していただいたり、朱墨で直すべき部分に印をしてもらったりしました。普段は教師1人で30人以上を指導する授業で、この日は高校生が各クラスに3名ずつ入って一人ひとりに丁寧なアドバイスをいただきました。併せて高校生が書いている様子も録画しました。必要に応じて授業でこの動画を流し、書くときの見本とします。



地域を発信する ふるさとを世界へ

(1学年・12月17、24日実施)

豊かな自然に囲まれた伊那のこと、それを利用したアクティビティを企画して、ふるさとのよさを国内外に広げようとしている ASOBINA のスタッフの思いを全世界に発信したい。

そんな願いをもった1学年は、10月に横山地区での自然体験学習の様子を編集し、ポスターや YouTube を作成。学年の仲間やご家庭の皆様、そして体験活動場所となった

ASOBINA スタッフに披露して、感想や意見を寄せてもらいました。今後は、伝えたいことが相手に伝わるにはどのような工夫が必要かを検討して再編集していく作業が続きます。作業を通して、伊那のよさやそこにかかわる人の生き方を感じる。そんな学習になっていくことを期待しています。



覚えたり何かができたりする力に加えて、疑問を持つ力・試す力・考える力・まとめる力・検討する力・伝える力・質問する力・分かりやすく説明する力・こうした力が世の中で求められていると耳にします。

3学期以降も、教科学習、ここで紹介したような総合的な学習の時間や特別活動、さらに学校生活全般をとおして、伊那中学校は「世の中から求められている力」を生徒の皆さんの中に育てていきます。



2学期の終わりに寄せて～学校長より～

12月21日に3年生にとっては締めくくりとなる生徒総会が開かれました。当日、生徒の皆さんに次のような話をさせていただきました。

今年生徒会を引っ張ってくれた役員の方々が、昨年12月役員になった時、だれが今年の状態を予想できたでしょうか。役員の方々は、「これをやってみよう」「ここは頑張るぞ」と様々な意気込みを持っていたのではないのでしょうか。しかし、今年3月の臨時休校から始まり、令和2年度は何もかもが想定外となりました。(中略)

何よりも全校が楽しみにしていた「泉ヶ丘祭」。例年通りにならない難しさはあったものの、役員の方々と、3年生を中心として全校の協力で、アイデアを出し合い、様々な工夫して何かをやっていこうというエネルギーを見せてくれました。「泉ヶ丘祭」での全校の方々の「笑顔」は心に残るものとなりました。これまで頑張ってくれた役員の方々と、3年生、ありがとう。

そして、先日の選挙で決まった会長、副会長を中心とした新役員の方々と。まだまだ、コロナは続きますが、ぜひ、皆さんも創造性を発揮して、この伊那中の発展のために頑張ってください。「何ができるか」を Keyword にして、1,2年生一丸となって前進してください。これからの活躍に期待します。

伊那中は前に進もうとしています。その陰には、保護者の方のご理解と協力、さらに地域の様々な皆様にお支えがあるからだ実感しています。校長として感謝申し上げますとともに、迎える令和3年もよろしくお祈りいたします。



年末年始休業中の緊急連絡先

1月6・7日 8:20～16:50
上記以外の日にちと時間帯

72-6168 (伊那中学校)

070-4127-6087 (伊那中学校公用携帯)

生徒の皆さん、ご家庭の皆様、地域の皆様

コロナ禍の中での令和2年度のスタート。早々に2ヶ月近い臨時休校。感染予防のために多くの活動が制限または中止となりました。生徒の皆さんにとっては「ガマン」の学校生活。それでもみんなで考えをめぐらせ、こういう状況下であっても工夫して、行えた活動や行事もありました。ご家庭や地域の皆様、ご理解とご協力ありがとうございました。

伊那中生、そして皆様にとって佳き2021年になるよう祈りながら、今年のお礼とさせていただきます。

(伊那中学校職員一同)

